

2021年11月10日

小平市長 小林洋子様

市議会公明党

幹事長 虻川 浩

国民健康保険税率改定にあたっての緊急要望

本年は、国民健康保険税の改定が予定されており、小平市国民健康保険運営協議会に諮問された改定率 3.05% について様々な意見も出されたなか、二回の協議を経て賛成多数で可とする答申が決定されている。

全会一致とならなかった背景には、コロナ禍における財政健全化計画の拙速を懸念することや、徴収率の更なる向上が望まれることが考えられる。

しかしながら、高齢化を背景とした医療費の増加への対応や、国民健康保険法等の一部改正による子どもに係る均等割保険料の軽減措置が拡充されたことによる税収減の影響もあることから、市議会公明党としてコロナ禍で経済的に困窮する市民一人ひとりに寄り添うこと。さらには生活の質の向上のため健康施策を大きく進め、もっと医療費削減を促す取り組みが必要と考え、以下要望する。

記

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が大きく減った世帯に対して、市独自の軽減措置を創設すること
2. 胃がん検診の項目に、ピロリ菌検査、内視鏡検査を追加し、充実を図ること
3. 人間ドッグ利用費補助金を増額し、利用しやすい制度とすること
4. 出産育児一時金は、現状の費用と大きく乖離するため、国の補助額が増額するまでの間、市の上乗せを実施すること

以上